



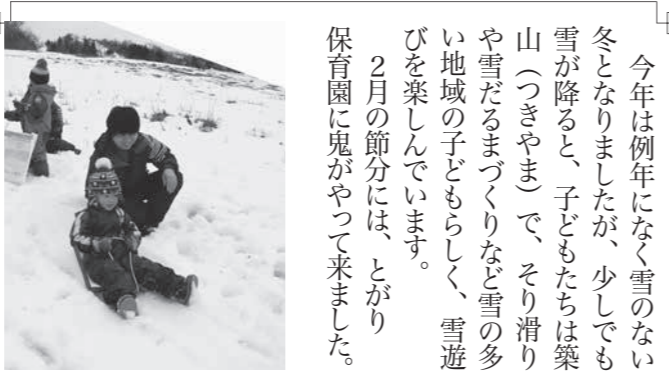
スキー飯山を全国へ轟かせよう



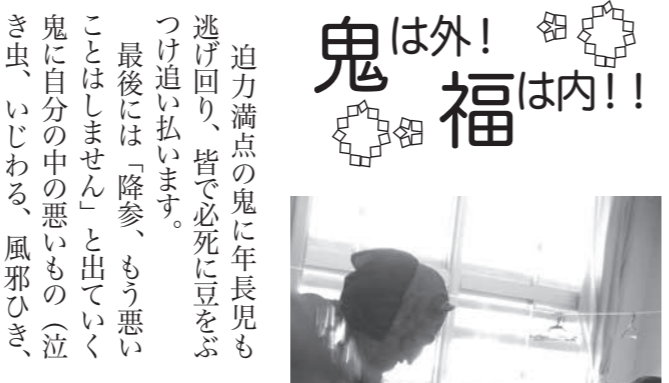
1月29日表敬訪問 (上) 全国中学校スキー大会出場選手 (下) 全国高等学校スキー大会出場選手
各選手の表敬訪問時には、市民の期待を込めた激励金が、市長から手渡されました。

第57回全国中学校スキー大会出場 2/5～2/8 長野県野沢温泉村	
クロスカントリー競技	選手・(所属校・学年)・敬称略
【男子】	大平 祐貴 (ゆうき) (城北3年) 沼田 涉聖 (あゆと) (城北3年) 松澤 柊斗 (しゅうと) (城北3年) 岡田 滉樹 (こうき) (城南2年) 川久保力生 (りき) (城北2年) 山崎 悠 (ゆう) (城南2年) 大日方彩吹 (いぶぎ) (城北2年)
【女子】	小林 華蓮 (かれん) (城北3年) 山中 夢華 (ゆめか) (城南3年) 小坂 璃彩 (りさ) (城北2年) 佐藤 笑瑠 (える) (城南2年)
アルペン競技	
【男子】	平井 颯馬 (そうま) (城北3年) 平瀬 慶 (けい) (城南3年) 高橋 駈琉 (かける) (城北2年) 堀川 七桜 (なお) (城北2年)

第69回全国高等学校スキー大会出場 2/2～2/7 新潟県妙高市	
(市在住関係選手)	
クロスカントリー競技	選手・(所属校・学年)・敬称略
【男子】	小林 皓生 (こうせい) (飯山3年) 佐藤 亮太 (りょうた) (下高井農林2年) 高島 侑希 (ゆうき) (下高井農林2年) 高島 颯大 (そうた) (下高井農林1年) 山崎 清 (しん) (下高井農林1年)
アルペン競技	
【女子】	坂東 楓 (かえで) (文化学園長野3年)
リレー競技	
	飯山高校リレーチーム (男子・女子) 下高井農林高校リレーチーム (男子)



今年は何年になく雪のない冬となりましたが、少しでも雪が降ると、子どもたちは築山(つきやま)で、そり滑りや雪だるまづくりなど雪の多い地域の子どもらしく、雪遊びを楽しんでいます。
2月の節分には、とがり保育園に鬼がやって来しました。



鬼は外! 福は内!!
迫力満点の鬼に年長児も逃げ回り、皆で必死に豆をぶつけ追い払います。
最後には「降参、もう悪いことはしません」と出ていく鬼に自分の中の悪いもの(泣き虫、いじわる、風邪ひき、



わがまま)を連れて行つてもらい、福の神様にご褒美をもらいます。
節分も、春と共にひとつ大きくなる子ども達に欠かせない行事です。



言葉を磨いて夢に向かう
ペップトーク
1月30日、飯山市文化交流館なちゅらで、日本ペップトーク普及協会の徳武有紀氏を講師に招き、講演会が開催されました。
ペップトークのペップは、英語で元気・活気・活力という意味を持ち、もともとアメリカで、スポーツの試合前に監督やコーチが選手にかけている激励の短いメッセージのことです。

試合や試験の前等、緊張の

①事実の受入れ
②とらえ方(言葉)の変換
↑ポイント!
③背中を押す魔法の言葉
⇒相手の緊張を解き、本来の力を発揮させる

箱
人権
学習シリーズ
情報化社会における人権教育
飯山市立東小学校長 中沢 裕子

平成28年に「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」のいわゆる人権三法が施行されてすでに3年になります。が、いじめ問題も含め、近年の差別事象はSNS等の電子空間上で多発しています。情報化社会は多くの情報を手軽に手に入れたり発信したりできる一方で、情報の信頼性や公正さといった面で、多くの問題を抱えながらモラルや法整備が追い付かないまま、あらゆる世代に浸透しているのが現実です。

先日「長野県部落解放研究集会」に参加した際、近畿大学人権問題研究所主任教授の北口末広先生が電子空間上での差別事象のもつショックングな問題点をお話されていました。ネット上ではフェイクニュース(真実)よりもフェイクニュース(虚偽)の方が10倍速いスピードで拡散し、さらなる差別を煽動しながら多くの人を巻き込んでいくというのです。ネットにお

ける情報の多くは真偽も精査されていません。誤った情報を確認することなく拡散することで、誰もが容易に差別を助長する加害者になりうるわけです。

情報化社会に生きる私たちはこのような現状を認識したうえで、正しい人権感覚のもと、情報を適正に活用できる力をつけていかなければなりません。発達段階に応じた情報リテラシー教育の重要性はますます高まっています。同時に、教育現場では現実的な人と人との確かなつながりを大切にしながら、体験や経験を通して心に響く人権教育、実感を伴った人権教育を進めていきたいと改めて強く思いました。